

平成26年度 第1回

山梨県考古博物館協議会資料

(次 第)

- 1 開 会
- 2 委嘱状・任命状交付
- 3 委員紹介
- 4 事務局職員等紹介
- 5 議 事
 - (1) 平成25年度 考古博物館事業実績について
 - (2) 平成26年度 考古博物館経過・予定事業について
 - (3) 考古博物館利用状況について
 - (4) その他
- 6 その他
- 7 閉 会

平成26年7月22日 (火)

山梨県立考古博物館
風土記の丘研修センター

資 料 目 次

◇ 平成25年度 考古博物館事業実績について	
1 展示活動	1
2 学習会・講座など	3
3 イベント	4
4 学芸員実習・職場体験・インターンシップ.....	7
5 古代衣装貸し出し.....	7
6 ボランティアガイドの実施	7
◇ 平成26年度 考古博物館経過・予定事業について	
1 展示活動	8
2 学習会・講座など	9
3 イベント	10
4 学芸員実習・職場体験・インターンシップ.....	12
5 古代衣装貸し出し.....	12
6 ボランティアガイドの実施	12
◇ 考古博物館の利用状況について	
(1) 観覧者数（常設展・特別展）	13
(2) 特別展観覧者数	14
(3) 学校関係利用状況	15
(4) 総利用者数	16
◇ 山梨県考古博物館協議会委員名簿	17
◇ 山梨県附属機関の設置に関する条例等（抜粋）	18

【別添資料】

◇ 山梨県立考古博物館基本理念	
-----------------	--

◇ 平成25年度考古博物館事業実績について

1 展示活動

(1) 第31回特別展

テーマ：『食いしんぼうの縄文人 いざとなったら縄文食～日本の食と心の源流～』

入館者 6,545人

会期：平成25年9月25日(水)～11月24日(日) 53日間(月曜日休館)

会場：考古博物館常設展示室(→特別展仕様に切り替えて)

概要：約1万年続いたともいわれる縄文時代、人間が生きていくうえで最も基本的な「食」に関して、縄文人たちがどのように考えていたのかをさまざまな考古資料をとおして紹介する内容であった。会期中は講演会をはじめ特別展に関連したイベントも多数開催し、多くの来館者を得た。

(2) 企画展

① 春季企画展『武田と城と城下町～信玄たちが駆け抜けた時代～』

入館者 7,060人

会期：4月27日(土)～6月30日(日)

開催日数 57日

会場：考古博物館特別展示室

概要：山梨といえば「武田信玄」。信虎・信玄・勝頼の武田三代が暮らした、武田氏館跡(国指定史跡)は今、武田神社として知られている。戦国時代を雄壮に駆けぬけた武田一族とその家臣たちは、実際にはどんな暮らしをしていたのか。発掘調査による出土品の数々から「風林火山」の時代に迫る企画であった。

② 夏季企画展『日本一の富士山展～人々の信仰とくらし～』

入館者 5,630人

会期：7月13日(土)～9月1日(日)

開催日数 44日

会場：考古博物館特別展示室

概要：神聖で荘厳な姿の富士山は、山城から山頂への登拝及び山麓の霊地への巡礼を通じて、富士山を居所とする神仏の霊力を獲得し、自らの擬死再生を求めるといふ独特の性質を持つ富士山信仰を育んできた。展示では、山梨・静岡両県の構成資産の発掘調査で明らかとなった富士山に対する信仰の姿とともに、噴火災害と共に生きてきた人々の暮らしの跡を紹介した。

③ 冬季企画展『古代都留郡ものがたり～富士北麓の出土品展～』

入館者数 783人

会期：12月14日(土)～平成26年2月2日(日)

開催日数 36日

会場：考古博物館特別展示室

概要：県内の考古資料を地域ごとに紹介する企画展の県東部・富士北麓編。古くは『和名類聚抄』に「豆留」としてその名を残すこの地域は、武蔵国・相模国・駿河国などの周辺地域と甲斐国を結ぶ交通の要衝であった。三万年にさかのぼる旧石器時代から、絶えることなく続いてきた先人の歩み。また今後はリニア中央新幹線の沿線にあたることや富士山の世界遺産登録により大きく発展していく

地域でもある。こうした地域の歴史をさまざまな考古資料から紹介した。

- ④『新年干支展』 入館者数 462人
会期：1月2日(月)～2月2日(日) 開催日数 24日
会場：考古博物館エントランスホール
概要：平成26年の干支は「午」。ウマと私たちの深く長い付き合いを、古墳時代の馬具や青銅鏡、平安時代の土馬などから探り得る内容とした。
- ⑤ 第11回『わたしたちの研究室』応募作品展 入館者数 180人
会期：2月10日(火)～3月2日(日) 開催日数 18日
会場：考古博物館特別展示室
概要：「わたしたちの研究室」(6ページで詳説)の応募作品のすべてを展示公開し、事業自体の普及啓発も図ろうとする取り組みであった。
- ⑥ 新指定展『国指定文化財 酒呑場遺跡出土品』 入館者数 4,998人
会期：3月1日(金)～5月31日(金) 開催日数 53日
会場：考古博物館エントランスホール
概要：新たに重要文化財に指定されることとなった酒呑場遺跡出土品の意義を周知するための記念展示。
- ⑦ 新指定展『県指定文化財 海道前C遺跡出土品』 入館者数 4,750人
会期：4月10日(水)～5月31日(金) 開催日数 46日
会場：考古博物館エントランスホール
概要：平成25年1月に、海道前C遺跡出土品が県指定文化財(考古資料)に指定されたことのお披露目としての記念展示。
- ⑧『日本一の富士山』プレ・ミニ展示 入館者数 2,345人
会期：6月19日(水)～7月12日(金) 開催日数 21日
会場：考古博物館エントランスホール
概要：同名の夏季企画展(7/13～9/1)のプレ展示として、世界文化遺産登録直前の機運醸成のため、信仰の山・富士山の歴史に関係した資料等を展示した。
- ⑨『富士山の日 ミニ展示』 入館者数 135人
会期：2月15日(土)～3月2日(日) 開催日数 14日
会場：考古博物館エントランスホール
概要：前年に世界文化遺産に登録された富士山について、信仰の山、芸術の源泉として時に畏れ、時に親しんだその姿を、富士山信仰に関わる遺物から紹介した。
- ⑩ 風土記の丘望見展 入館者数 69人
会期：2月1日(土)～3月23日(日) 開催日数 38日
会場：風土記の丘研修センターエントランスホール
概要：風土記の丘研修センターでは、勾玉づくりや土器作りなどの体験をとおして、考古博物館の展示プラスアルファで古代の世界を体感できるイベントが目白押し

し。今回の望見展はそんな体験学習の活動記録を紹介するだけでなく、当館の目玉である青銅器作りにおいて銅と錫の混合比率を変えることで色調や強度にどのような変化があるのかを実験した成果等を紹介した。

- ⑩ 『山梨の遺跡展2014』
- | | |
|------|------|
| 入館者数 | 386人 |
| 開館日数 | 25日 |
- 会 期：3月7日（土）～4月5日（日）
- 会 場：考古博物館特別展示室
- 共 催：山梨県埋蔵文化財センター
- 概 要：平成25年度の埋蔵文化財センターの発掘成果を中心に、話題となった市町村教育委員会の発掘成果も加え、出土品や写真・解説パネル等を展示した。

2 学習会・講座など

(1) チャレンジ博物館

第1回	5月26日（日）	『大きな勾玉をつくろう』	参加者	24人
第2回	6月16日（日）	『縄文時代の布を編んでみよう』	参加者	9人
第3回	6月30日（日）	『縄文時代のアクセサリーをつくろう』	参加者	25人
第4回	7月14・21・8月4日	『縄文土器をつくろう』	参加者	78人
第5回	8月18日（日）	『縄文時代のかごをつくろう』	参加者	22人
第6回	9月8日（日）	『弥生時代の矢じりをつくろう』	参加者	24人
第7回	10月20日（日）	『縄文土器をつくろう』	参加者	4人
第8回	11月17日（日）	『森の草木で染めてみよう』	参加者	31人
第9回	12月8日（日）	『干支の土鈴をつくろう』	参加者	30人
第10回	1月12日（日）	『土偶をつくろう』	参加者	25人
第11回	3月9日（日）	『はにわをつくろう』	参加者	8人
第12回	3月9日（日）	『縄文時代のアクセサリーをつくろう』	参加者	8人

(2) ものづくり教室～原始古代の技に学ぶ～

第1回	4月13日（土）	『トンボ玉作り1』	参加者	5人
第2回	5月25・6月1日（土）	『青銅器作り1』	参加者	10人
第3回	6月8・15・29日（土）	『縄文土器作り1』	参加者	27人
第4回	7月13日（土）	『草木染め1』	参加者	15人
第5回	8月10日（土）	『トンボ玉作り2』	参加者	3人
第6回	9月14・29日（土）	『青銅器作り2』	参加者	10人
第7回	10月6日（土）	『勾玉作り』	参加者	14人
第8回	11月10日（土）	『トンボ玉作り3』	参加者	6人
第9回	12月15日（土）	『珠状耳飾り作り』	参加者	10人
第10回	1月11・25・26日（土・日）	『草木染めと原始機織り』	参加者	33人
第11回	2月8・15・3月1日（土）	『縄文土器作り2』	参加者	12人
第12回	3月8・16日（土）	『青銅器作り3』	参加者	10人

(3) 史跡文化財セミナー

一般成人を対象として、山梨県内の史跡を巡り、郷土の歴史や文化に対する興味・関心、理解を深める。

- 第57回 4月22日(日) 『信玄公の御館を訪ねる』 参加者 44人
 講師：林陽一郎氏
- 第58回 6月16日(日) 『北杜の縄文ムラを訪ねる』 参加者 21人
 講師：北杜市教育委員会 村松佳幸氏
- 第59回 8月4日(日) 『河口御師の里を訪ねる』 参加者 25人
 講師：富士河口湖町教育委員会 杉本悠樹氏
- 第60回 10月20日(日) 『考古博物館周辺で縄文食を探す』 参加者 7人

(4) 考古学講座

- 第1回 6月9日(日) 『富士山の火山災害と人々の暮らし』 受講者 51人
 講師：富士河口湖町教育委員会 杉本悠樹氏
- 第2回 6月30日(日) 『地震災害の痕跡と水害との戦い』 受講者 55人
 講師：宮城県教育庁(本県から派遣) 保坂和博氏
- 第3回 7月21日(日) 『水害と水防の歴史』 受講者 38人
 講師：南アルプス市教育委員会 齋藤秀樹氏
- 第4回 8月18日(日) 『災害の教訓から身を守る』 受講者 44人
 講師：山梨県立大学 輿水達司氏

3 イベント

- (1) 第24回 風土記の丘こどもまつり 参加者 24,906人
 5月5日(日)・6日(月) 会場：風土記の丘研修センター内と前庭など
 勾玉作り、トンボ玉作り、火起こし体験、古代食試食、狩猟体験や古代ダンスショー、史跡ウォークラリーなど考古学や風土記の丘に親しんでいただく催しものを5月の連休期間中に毎年開催。

(2) 考古博物館の日

第4土曜日を中心に「考古博物館の日」と銘打ち、エントランスホールで体験型のミニイベントを実施。

- 第1回 4月27日(土) 『甲冑を着て戦国武将に変身！&焼米を食べてみよう！』 参加者 25人
 復元衣装の^{よろい}甲や^{かぶと}冑を身につけて戦国武将になったり、炒った米を味見する体験。
- 第2回 5月25日(土) 『竪穴住居でおはなし会&どんぐりデザートを作ろう！食べよう！』 参加者 38人
 復元竪穴住居の中で絵本の朗読を聞いたり、どんぐり粉を使ったデザートを食べたりする体験。
- 第3回 6月22日(土) 『富士山のお札を刷ろう！』 参加者 41人
 かつて富士講信者の宿坊を営んでいた御師が配っていた「お札」を刷る体験。
- 第4回 7月27日(土) 『考古学探検隊～考古博ナイトミュージアム～』 参加者 21人
 常設展示室内の照明を落として懐中電灯を持って見学するナイトミュージアムと、クルミペンダントづくりの体験。
- 第5回 10月26日(土) 『縄文カフェ開店！』 参加者 55人

特別展『食いしんぼうの縄文人』に関連して縄文人が食べていたドングリ・クリ・トチなどをつかった食べ物の試食体験。

第6回 1月25日(土) 『考古学探検隊 大丸山古墳探検ツアー』 参加者 28人
大丸山古墳の史跡指定を記念して、考古博物館の常設展示の見学をとおして古墳について学んだ後、銚子塚古墳から大丸山古墳まで歩いて古墳の大きさを体験。

第7回 3月1日(土) 『考古博物館 春まつり』 参加者 428人
本物の土器にふれたり、弓矢体験、拓本体験、竹製の楽器づくり、ウォークラリー、縄文汁粉を試食、トンボ玉づくりなど 様々な特別な体験イベントを実施。

(3) 夏休みフリーパスポートに関するイベント

「夏休みフリーパスポート」による入館者を対象に、希望者に体験メニューを提供。

- | | |
|--------------------|----------|
| ① 『土器の拓本カードをつくろう!』 | 参加者 291人 |
| ② 『トンボ玉をつくろう!』 | 参加者 125人 |
| ③ 『古代の火おこし!』 | 参加者 74人 |
| ④ 『勾玉をつくろう!』 | 参加者 192人 |
| ⑤ 『青銅鏡をつくろう!』 | 参加者 19人 |
| ⑥ 『クルミペンダントをつくろう!』 | 参加者 192人 |

(4) 「夏休み自由研究プロジェクト」への参加 参加者 74人

7月15日(月) 会場: アイメッセ山梨(甲府市)

県立博物館の呼びかけによる博物館連携事業への参加。当館では、クルミペンダントづくりコーナーを出店。

(5) 縄文王国山梨関連イベント

①巡回イベント「縄文チャレンジ! —伝承館で夏まつり2013—」 参加者 210人

8月24日(土) 会場: 南アルプス市ふるさと伝承館

火起こし、どングり染めでエコバックづくり、縄文編みでコースターづくり、土偶づくり、縄文服を着て記念撮影、弓矢で狩猟体験、石皿で木の実磨り、縄文土器の立体パズル、塗り絵・折り紙、などを実施。

②講演会・写真コンテスト「縄文文様探し」 参加者 23人

9月29日(日)

1万余点の縄文土器を撮影したプロカメラマン 小川忠博氏による撮影技術の講演と、実際の展示室での縄文土器の撮影指導を実施。

③講演会「縄文人の世界観」 参加者 66人

12月22日(日) 会場: 北杜市考古資料館および国指定史跡金生遺跡

青森県埋蔵文化財センター 太田原潤氏・山梨県埋蔵文化財センター 今福利恵氏による、縄文の巨大集落として有名な三内丸山遺跡や山梨県の遺跡における縄文ランドスケープの最新の研究成果の講演を聴き、実際に金生遺跡現地において、冬至の日没を観察した。

④講演会「土器、文様から図像へ」

12月22日(日) 参加者 51人

井戸尻考古博物館前館長 小林公明氏による、縄文土器の文様を世界中の神話などを例とするグローバルな視点で観察し続ける研究の紹介と、縄文人の精神文化の一

端をわかりやすく講演を実施。

(6) 特別展関連イベント

① 事前講演会

9月 1日(日) 「食いしんぼうの縄文人の見どころ」 受講者 18人
米田明訓 当館学芸課長

② 記念講演会

10月 6日(日) 「縄文時代の食料の再検討」 受講者 38人
元国立歴史民俗博物館教授 西本豊弘氏

10月13日(日) 『縄文時代』の食と生活を考える 受講者 31人
首都大学東京教授 山田昌久氏

10月27日(日) 「貝塚から見えてきた縄文時代の生業と社会」
受講者 19人
県立博物館学芸員 植月 学氏

(7) 県民の日イベント

「考古博物館で古代の体験をしてみよう！」(共催：埋蔵文化財センター)

11月20日(水) 参加者 1,621人

火おこし体験、弓矢体験、本物の土器にさわってみよう、拓本体験、プラ板ストラップをつくらう、古墳と展示室のウォークラリーを実施。ウォークラリー参加者にクリアファイルやクッキー、参加者全員に屋上緑化で収穫した焼きイモをふるまった。

(8) 古代のもちつき

1月2・3日(水・木) 参加者 74人

正月2日は黒米もち、3日はくるみもち、弥生時代の出土品をモデルとした臼と杵を使ってもちをつきと試食の体験イベント。

(9) わたしたちの研究室表彰式・発表会

2月9日(土) ただし、大雪のため表彰式及び発表会は中止(個別伝達)

小中学生を対象に考古学や歴史に関連した個人・団体の研究を、平成25年9月～11月に募集した第11回『わたしたちの研究室』について、小学校個人10点、中学校個人263点、団体研究1点、432名の児童・生徒の中から、個人研究部門・小学校の部では最優秀賞作品1点、小学校優秀賞作品2点、努力賞1点、奨励賞2点。個人研究部門・中学の部では、最優秀賞・優秀賞は該当なし、努力賞2点、奨励賞2点、努力賞2点。団体研究部門では、団体奨励賞1点を表彰した。

(10) その他のイベント(共催事業)

① 2013風土記の丘・曾根丘陵公園「秋のふれあい祭り」

(共催：富士観光開発・富士グリーンテックグループ)

期日：10月14日(月) 参加者 4,594人

会場：風土記の丘・曾根丘陵公園

内容：うさぎやポニー等と触れ合う「いちにちどうぶつむら」、「ディスクド

「クックショー」の他、「クラフト体験」や「勾玉作り」を無料体験。

② 第4回 落ち葉で焼きいも！ (共催：富士観光開発・富士グリーンテックグループ)

期日：11月24日(日) 参加者 286人

会場：風土記の丘・曾根丘陵公園

内容：考古博物館見学の後、公園内の落ち葉拾いに協力していただき、その後、落ち葉で焼いた焼き芋を食べた。

(11) 原始・古代の技術体験学習(風土記の丘研修センター事業：常時対応)

- | | | |
|------------|-----|--------|
| ① 勾玉作り | 参加者 | 2,570人 |
| ② 火起こし体験 | 参加者 | 5,819人 |
| ③ 縄文の土鈴づくり | 参加者 | 84人 |
| ④ クルミペンダント | 参加者 | 103人 |

4 学芸員実習・職場体験・インターンシップ

高校・大学生等の就職先選定に先立つ職場実習であるインターンシップ、主に中学生による職場体験、大学生の学芸員資格取得のための学芸員実習を受け入れている。

① 職場体験・インターンシップ 中学29人、高校4人

7月 24日 敷島中2名、24・25日 甲府南中1名、24～26日 白根高校1名、

29・30日 城西高3名、30日 長坂中1名、30・31日 押原中2名

8月 1・2日 勝山中1名、6・7日 中富中・浅川中各1名、

8・9日 西浜中1名、富竹中5名、20・21日 甲府南西中2名・甲府東中4名、

22・23日 甲府北中2名

10月 18日 若草中1名

11月 14日 玉幡中5名

② 学芸員実習

8月1日(木)～8月10日(土) 9日間 6名

5 古代衣装貸し出し

弥生～古墳時代の貫頭衣、古墳時代の豪族の衣服である胡服や巫女の服、古墳～奈良時代の女官や官吏の服を貸し出し、学校教育やイベントに活用。

県内 釈迦堂遺跡博物館・富士河口湖町立小立小(6)・甲府支援学校 高等部・市川三郷町立六郷小(6)

県外 群馬県文化振興課・埼玉県生活科学センター

6 ボランティアガイドの実施

考古博物館協力員に研修を受けていただき、ボランティアガイドとして来館者向けの展示解説を実施したもので、総勢15名で常設展ガイドに取り組んだ。

4月－ 2日間(延べ 5名；開館日数26日)	10月－ 3日間(＃ 3名；＃ 28日)
5月－ 11日間(＃ 19名；＃ 27日)	11月－ 2日間(＃ 2名；＃ 27日)
6月－ 6日間(＃ 9名；＃ 26日)	12月－ 0日間(＃ 0名；＃ 23日)
7月－ 7日間(＃ 12名；＃ 26日)	1月－ 2日間(＃ 2名；＃ 21日)
8月－ 6日間(＃ 18名；＃ 28日)	2月－ 1日間(＃ 1名；＃ 24日)
9月－ 5日間(＃ 5名；＃ 19日)	3月－ 2日間(＃ 2名；＃ 26日)

◇ 平成26年度考古博物館経過・予定事業について

1 展示活動

(1) 第32回特別展

テーマ：『掘り起こされた音の形～まつりと音具の世界～』

会 期：平成26年10月8日（水）～11月24日（日） 48日間（月曜日休館）

会 場：考古博物館常設展示室（→特別展示仕様に模様替え）

概 要：縄文時代から中近世までの音を発する道具や楽器を展示し、考古学や民俗学的な見方から音に関わる歴史とその魅力とその背景を知ってもらうため企画した。また、本特別展に合わせて、楽器としての土器作り、木製・土製の楽器作り、古代琴の演奏会などを合わせて行うことにより、いにしえの人々と音の関わり合いについて一層の興味関心を抱いてもらえるよう留意している。

(2) 企画展

① 春季企画展『縄文人の装い—県内出土の装身具—』

入館者 6,202人

会 期：4月26日（土）～6月15日（日）

開催日数 50日

会 場：考古博物館多目的室

概 要：山梨といえば 宝飾！ 宝飾の歴史は縄文時代まで遡ることができる。水晶やメノウ、ヒスイ、琥珀などの宝石を加工し、ペンダントや耳飾りなどたくさん発見されている。土製耳飾のルーツは大陸か！民俗事例も含めて検討するとともに、発掘調査で見つかった出土品の数々から縄文時代のファッションの最先端にふれる企画とした。

② 夏季企画展『まじないの世界—儀式・呪文・霊的技術—』

会 期：7月19日（土）～8月31日（日）

会 場：考古博物館多目的室

概 要：遺跡からは昔の人々が願いや祈り、呪いを込めたと考えられる不思議な遺物が出土する。この展示では、遺跡から出土した、人々が祈りを込めて祭祀に使ったと考えられる遺物や、私達にも馴染み深い身近な品などのさまざまなモノを通して、「まじないの世界」に託した、いにしえの人々の「こころ」を探る機会を提供する。

③ 風土記の丘望見展『風土記の丘の古墳をめぐる』

会 期：7月19日（土）～8月31日（日）

会 場：風土記の丘研修センターエントランスホール

概 要：風土記の丘研修センターが所在する甲斐風土記の丘・曾根丘陵公園内の古墳を代表として曾根丘陵には多くの古墳が存在する。これらの古墳の変遷などについて、また古墳の代表的な副葬品である青銅鏡の歴史などについて、小・中学生を対象としたわかりやすい展示を行う。

（※防災関係改修工事のため臨時休館 平成26年11月26日～1月13日）

④ 第12回『わたしたちの研究室・研究成果展示会』

会 期：2月10日（火）～3月1日（日）

会 場：考古博物館多目的室

⑤ 『富士山の日 ミニ展示』

会 期：2月14日（土）～3月1日（日）

会 場：考古博物館多目的室

⑥ 『山梨の遺跡発掘展2015』

会 期：3月7日（土）～4月5日（日）

会 場：考古博物館多目的室

共 催：山梨県埋蔵文化財センター

2 学習会・講座など

(1) 考古学講座(協力会共催)

近年は戦国時代への関心が高まる中、古文書、古絵図など研究を踏まえ、発掘調査などの最新の考古学研究によって解明された県内の代表的な城下町について、「考古学が語る 甲斐國の城下町」のシリーズタイトルを冠した連続講演で学ぶ。

第1回 6月8日（日） 「武田城下町」 講師：信藤祐仁氏（甲府市教育委員会）
受講者：70人

第2回 7月6日（日） 「谷村城下町」 講師：森屋雅幸氏（都留市教育委員会）
受講者：70人

第3回 7月20日（日） 「新府城下町」 講師：関間俊明氏（韮崎市教育委員会）

第4回 8月17日（日） 「甲府城下町」 講師：志村憲一氏（甲府市教育委員会）

(2) 館長講座 2014

平成26年4月就任の萩原三雄館長が「考古学研究の最前線」をテーマに連続講演を行う新企画。

第1回 7月26日（土） 歴史考古学の世界①

第2回 9月20日（土） 歴史考古学の世界①

第3回 1月10日（土） 城の考古学①

第4回 3月14日（土） 城の考古学②

(3) 古墳シンポジウム — 銚子塚古墳史跡指定 85周年記念・大丸山古墳史跡指定記念—

銚子塚古墳・大丸山塚古墳などを代表とする中道古墳群と畿内王権との関わりを解明するシンポジウムの企画。

シンポジウム 11月22日（土） 報告・講演・討論

エクスカーショ ン 11月23日（日） 中道古墳群の巡見

(4) チャレンジ博物館

小中学生を対象に、学校の休業日である日曜日を利用し、体験学習会を開催。考古学を学ぶ楽しさやものを作り出すよろこびを経験できる企画。

第1回 5月25日（日） 『石製耳飾りづくりにチャレンジ』

(企画展関連) 参加者：18人

第2回 6月15日（日） 『土製耳飾りづくりにチャレンジ』

(企画展関連) 参加者：3人

- 第3回 7月20・27日、8月10日(日) 『縄文土器(有孔罽付土器)に
チャレンジ』 (特別展関連)
- 第4回 8月24日(日) 『縄文のかごづくりにチャレンジ』
- 第5回 9月7日(日) 『埴輪づくりにチャレンジ』
- 第6回 10月5日(日) 『弥生時代の笛づくりにチャレンジ』 (特別展関連)
- 第7回 10月19日(日) 『弥生時代の琴づくりにチャレンジ』 (特別展関連)
- 第8回 11月2日(日) 『小銅鐸づくりにチャレンジ』 (特別展関連)
- 第9回 12月7日(日) 『干支の土鈴づくりにチャレンジ』
- 第10回 1月18日(日) 『クルミペンダントづくりにチャレンジ』
- 第11回 2月15日(日) 『土偶づくりにチャレンジ』
- 第12回 3月8日(日) 『勾玉づくりにチャレンジ』

(5) ものづくり教室 ～原始古代の技に学ぶ～

高校生以上の一般を対象に、原始古代のすぐれた工芸技術を体験学習する。

- 第1回 4月20日(日) 『球状耳飾ペンダント作り』
(企画展関連) 参加者：8人
- 第2回 5月17日・24日(土) 『青銅器作り』
(特別展関連) 参加者：10人
- 第3回 6月7・14・28日(土) 『縄文土器(有孔罽付土器)作り』
(特別展関連) 参加者：25人
- 第4回 7月13日(日)・26日(土) 『青銅器作り』 (企画展関連)
- 第5回 8月10日・16日(土) 『トンボ玉作り』
- 第6回 9月13日(土)・28日(日) 『青銅器作り』 (企画展関連)
- 第7回 10月12日(日) 『口琴(ムックリ)作り』 (企画展関連)
- 第8回 11月3日(月)・8日(日) 『トンボ玉作り』
- 第9回 12月14日(日) 『勾玉作り』
- 第10回 1月24日(土) 『草木染め』
- 第11回 1月31日・2月7日・2月21日(土) 『縄文土器作り』
- 第12回 3月7日(土)・15日(日) 『青銅器作り』

(6) 史跡文化財セミナー

一般成人を対象として、山梨県内の史跡を巡り、郷土の歴史や文化に対する興味・関心、理解を深める。

- 第61回 4月18日(日) 『北口本宮富士浅間神社と吉田口登山道周辺を歩く』
講師：富士吉田市教育委員会 篠原 武氏 参加者：26人
- 第62回 8月3日(日) 『本栖湖周辺の中道往還を歩く』
講師：富士河口湖町教育委員会 杉本悠樹氏
- 第63回 12月14日(日) 『信玄の棒道を歩く』

3 イベント

- (1) 第25回 風土記の丘こどもまつり 参加者24,095人
5月5日(月)・6日(火) 風土記の丘及び風土記の丘研修センター内外
5月の連休期間中の恒例行事で、勾玉作り、トンボ玉作り、火起こし体験、古代食試食、狩猟体験や古代ダンスショー、史跡ウォークラリーなど考古学や風土記の丘に親しんでいただく催しものとなっている。

(2) 考古博物館の日

各月の第4日曜日を「考古博物館の日」と銘打ち、エントランスホールでミニイベントを実施。

第1回 4月27日(日) 『甲冑を着て戦国武将に変身! & 焼米を食べてみよう!』
参加者: 19人

端午の節句を前に、復元衣装のよろいやかぶとを着て、戦国武将になりきったり、焼米を試食したりし、また甲冑を着た姿を写真に撮ってもらう演出も行った。

第2回 5月25日(日) 『竪穴住居でおはなし会&どんぐりデザートを作ろう! 食べよう!』
参加者: 54人

考古博物館の隣にある復元竪穴住居(縄文時代)の前で絵本の読み聞かせや縄文人の主食の一つである”どんぐり”を味わってみる内容とした。

第3回 6月22日(日) 『富士山のお札(ふだ)を刷ろう!』 参加者: 38人
富士山の世界遺産登録から一周年。これにちなんで、かつて富士講信者の宿坊を営んでいた御師が配っていた「お札」を刷る体験を実施した。

第4回 10月26日(日) 『チャレンジ演奏会・収穫祭』(特別展関連)
埋文センターと共催により実施する予定。

第5回 1月25日(日) 『風土記の丘探検隊』
博物館周辺の史跡等を探訪する。

(3) 夏休みフリーパスポートイベント

7月19日(土)～8月31日(日)

スタンプブック持参の小中学生を対象に、縄文土器の拓本体験などの夏休み企画

- ① 『古代の火おこしにチャレンジしよう!』
- ② 『勾玉をつくろう!』
- ③ 『太珠をつくろう!』
- ④ 『青銅鏡をつくろう!』
- ⑤ 『土器の拓本をつくろう!』
- ⑥ 『おしゃれクルミペンダントをつくろう!』

(4) 「夏休み自由研究プロジェクト」への参加

7月21日(月) アイメッセ山梨(甲府市)

県立博物館の呼びかけによる県内の博物館の連携事業への参加。

(5) 縄文王国山梨関連イベント

巡回イベント・・・ 南アルプス市ふるさと伝承館 8月(予定)
北杜市考古資料館 12月(予定)

(6) 特別展関連イベント

① 記念講演

11月2日(日) 「音の考古学」(仮称)

群馬県埋蔵文化財調査事業団 石守 晃氏

② 記念講演&コンサート(仮称)

11月9日(日)

古代琴演奏家

遼安氏

(7) 第12回わたしたちの研究室表彰式・発表会

2月8日(日)

(8) その他のイベント

- 11月20日(木) 県民の日イベント(埋文センター共催)
3月1日(日) 考古博物館春まつり(埋文センター共催)

(9) 原始・古代の技術体験学習(風土記の丘研修センター事業;常時対応)

(6月末現在)

- ① 勾玉作り 参加者: 1, 544人
② 火起こし体験 参加者: 3, 176人

4 学芸員実習・職場体験・インターンシップ

高校・大学生等の就職先選定に先立つ職場実習であるインターンシップ、主に中学生による職場体験(7月15日現在25人)、大学生の学芸員資格取得のための学芸員実習(7月31日～8月10日に1名)を受け入れ予定。

5 古代衣装貸し出し

弥生～古墳時代の貫頭衣、古墳時代の豪族の衣服である胡服や巫女の服、古墳～奈良時代の女官や官吏の服を貸し出し、学校教育やイベントに活用する。

既実績となっているものとして、次の3件がある。

- 3月21日(金)～5月27日(火) 釈迦堂遺跡博物館
5月8日(木)～5月29日(木) 忍野村立忍野村小学校
5月29日(木)～6月8日(日) 静岡県富士宮市市立山宮小学校

6 ボランティアガイドの実施

考古博物館協力員に研修をうけていただき、ボランティアガイドとして来館者の展示解説を実施していく。16名の研修終了者を中心に進めていく。

26年度において、これまでの実施状況は、次のとおりである。

- 4月 2日間(延べ 2名;開館日数27日)
5月 3日間(延べ 3名;開館日数27日)
6月 0日間(延べ 0名;開館日数25日)

◇ 考古博物館利用状況について

次の4項目については、次ページ以降をご覧ください。

- (1) 総入館者数
- (2) 特別展入館者数
- (3) 学校関係利用状況
- (4) 考古博物館総利用者数

考古博物館観覧者数 (常設展・特別展)

平成26年6月末日現在 (単位:人)

年度	開館日数	常 設 展										計	特別展	合計 (常設+特別)	累 計			
		個 人		団 体		割引(校外券・宿泊券)		旅行会社ツアー		年間バス ポート	高齢者 身障者					土曜日 (小・中・高)	教育課程	招待者
		大学・一般	小・中・高	大学・一般	小・中・高	大学・一般	小・中・高	大学・一般	小・中・高									
57	115	12,017	3,412	6,885	538							4,130	3,705	30,687	30,687			
58	295	16,957	6,423	10,948	1,742							8,744	3,981	48,795	87,877			
59	298	14,282	4,968	6,329	3,276							9,327	2,540	40,722	133,838			
60	298	12,679	4,431	5,209	3,116							7,533	2,660	35,628	173,481			
61	302	14,667	4,154	4,370	3,651							7,471	3,793	38,106	221,601			
62	298	16,066	4,588	4,760	1,951							8,957	2,558	38,880	263,998			
63	296	15,822	4,522	3,014	4,667							7,613	3,916	39,554	308,675			
1	299	16,349	4,813	5,059	6,332							7,147	2,982	42,682	356,982			
2	301	17,777	5,123	4,691	6,700							10,504	2,807	47,602	411,181			
3	300	15,775	4,422	4,538	7,541							8,975	3,684	44,935	461,905			
4	296	14,329	3,788	4,215	8,046							6,807	3,610	40,640	508,874			
5	289	13,272	3,865	3,636	8,211							8,164	3,492	40,640	554,105			
6	294	11,759	3,153	1,764	7,216						48	7,388	3,708	35,036	595,427			
7	291	12,519	2,749	1,548	5,076						11,230	4,422	6,845	3,573	47,962	733,471		
8	283	9,079	2,055	1,426	6,089						3,455	1,028	4,908	2,910	30,950	782,904		
9	297	7,470	1,795	1,073	5,594						2,633	443	4,125	2,442	25,575	813,674		
10	290	7,057	1,566	556	5,410						3,596	446	4,166	2,283	25,080	851,919		
11	288	6,283	1,705	521	4,208						2,339	332	4,409	1,839	21,636	880,367		
12	288	5,616	1,459	797	2,958						3,201	267	3,919	1,877	20,094	909,688		
13	292	5,717	1,560	800	2,271						2,517	250	3,683	1,191	17,989	933,712		
14	289	5,423	1,398	396	2,598						2,670	569	3,397	1,428	17,879	957,964		
15	290	4,444	1,312	479	2,379						2,887	571	3,465	1,065	16,602	982,693		
16	298	4,377	1,141	557	1,822						2,397	331	3,519	1,202	15,346	1,003,103		
17	296	4,432	1,105	307	2,874						3,265	440	3,093	1,039	16,555	1,024,812		
18	300	4,876	1,222	326	3,543			32	5	35	2,844	537	3,145	1,863	18,428	1,047,853		
19	301	17,512	7,004	346	3,482			287	30	608	11,546	3,139	4,747	2,070	50,887	1,149,981		
20	298	4,548	2,187	229	4,276			1,098	17	261	2,944	525	3,919	2,268	22,493	1,179,023		
21	290	4,537	2,524	212	3,854			938	69	271	3,049	354	3,553	2,429	21,847	1,205,938		
22	300	3,858	1,958	305	4,128			716	68	270	2,562	396	3,798	2,433	20,570	1,230,837		
23	301	3,768	2,073	202	5,167			1,176	64	254	2,948	837	4,008	3,022	23,659	1,261,269		
24	296	4,360	6,884	85	5,056			16,900	618	825	21,177	1,697	3,699	3,055	64,356	1,390,490		
25	293	3,833	3,798	186	4,201			724	55	274	3,343	680	3,286	2,560	23,125	1,420,160		
26	79	987	452	35	2,863			10		37	711		1,970	1,023	8,088	1,428,248		
計	9,335	312,447	103,609	75,804	140,836			21,881	1,067	457	91,362	17,264	180,414	85,008	1,033,183	1,428,248		

特別展観覧者数

平成26年6月末現在 (単位:人)

年度	開館日数		個人		団体		割引制度(小・高)		前売券	旅行会社 クーポン	年間パス ポート	高齢者 身障者	土曜日 (小・中・高)	教育課程	招待者	計	1日 平均	回	内 容	
	大学・一般	小・中・高	大学・一般	小・中・高	大学・一般	小・中・高	大学	小・中・高												
58	46	2,807	723	1,405	215									1,800	1,445	8,395	183	1	土偶	
59	35	1,840	308	926	26									1,194	945	5,239	150	2	縄文時代の酒造具	
60	37	1,362	161	832	36									785	839	4,015	109	3	山梨の中世陶磁	
61	56	3,232	520	1,065	8									2,585	2,604	10,014	179	4	古代甲斐国と藤内王権	
62	29	1,461	274	317	28									571	866	3,517	121	5	古代官道と甲斐の文化	
63	28	1,924	242	359	24									1,008	1,566	5,123	183	6	古代の装身具	
1	31	1,098	264	616	316									2,522	809	5,625	181	7	一粒の靱展	
2	36	1,503	242	448	81									3,549	774	6,597	183	8	古墳時代が聞こえる	
3	36	1,100	199	350	3									3,318	819	5,789	161	9	縄文土器その心象世界	
4	36	2,263	344	414	115									1,903	1,135	6,174	172	10	天下人の時代	
5	35	840	101	231										2,446	973	4,591	131	11	山梨の怪塚	
6	36	2,414	534	96										1,947	1,295	6,286	175	12	古墳時代の甲冑	
7	44	55,623	9,554	1,943	576							10,045	3,765	4,273	4,303	90,082	2,047	13	黄金の都シカク祭典展	
8	32	7,999	1,432	259	219							982	608	2,140	420	14,059	439	-	ネアンデルタール人の復活展	
9	19	1,268	178	92								583	125		2,178	4,424	283	14	新発見考古学展	
10	33	1,683	167	189								587	62	737	1,770	5,195	157	15	韓国・忠清北道の古代文化展	
11	44	5,173	883	151	458							1,711	208	1,948	2,633	13,165	299	16	遙かなるエジプト展	
12	39	1,985	394	166	457							611	87	1,634	1,478	6,812	175	17	縄文の旅	
13	39	2,842	383	179	173							1,548	94	1,126	2,882	9,227	237	18	中国四川省古代文物展	
14	44	1,555	309	205	205							721	92	1,913	1,035	6,035	137	19	黄金の輝き	
15	38	1,884	449	274	89							737	142	1,423	1,375	6,373	168	20	技と美の誕生	
16	46	1,965	133	126								1,257	145	2,227	2,274	8,127	214	21	大トルコ展	
17	58	942	116	285	14							615	81	1,745	1,156	5,064	110	22	縄文の女神展	
18	51	993	167	206	234							828	109	1,805	863	5,154	89	23	山の民と海の民	
19	52	12,958	2,998	498	355							802	83	1,546	812	4,613	90	24	甲府盆地から見たヤマト	
20	55	647	428	164	592							9,468	2,507	2,035	729	51,241	985	25	世界遺産ナスカ展	
21	51	605	420	39	351							126	874	1,628	905	6,549	119	26	埋められた財宝	
22	51	453	236	40	390							112	667	748	1,128	5,068	99	27	卑弥呼時代の黄金世界	
23	50	810	338	92	1,124							899	102	1,069	751	4,329	85	28	発掘された女性の系譜	
24	50	12,437	4,782	193	999							18,095	1,309	1,474	2,404	64,865	1,297	29	縄文土器名宝展	
25	55	563	1,504	104	674							708	82	973	1,103	6,545	119	31	食いしんぼうの縄文人	
26																			32	振り返りこされた音の形

学校関係利用状況

平成26年6月末現在 (単位：校、人)

年度	県内										県外										合計	
	小学校		中学校		高校		計		小学校		中学校		高校		計		校数	人数				
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数						
4	88	6,303	4	494	1	10	93	6,807	67	5,569	17	1,708	11	538	95	7,815	188	14,622				
5	89	6,450	11	1,352	2	362	102	8,164	68	5,716	15	1,461	11	578	94	7,755	196	15,919				
6	89	6,306	11	763	4	319	104	7,388	69	5,537	7	759	11	714	87	7,010	191	14,398				
7	93	5,814	15	683	7	348	115	6,845	53	3,999	12	1,077	2	173	67	5,249	182	12,094				
8	67	4,353	12	515	2	40	81	4,908	62	4,384	12	1,062	2	122	76	5,568	157	10,476				
9	53	3,437	10	474	5	214	68	4,125	67	4,524	12	1,118	1	56	80	5,698	148	9,823				
10	61	3,723	9	397	1	46	71	4,166	46	3,213	12	1,316	4	855	62	5,384	133	9,550				
11	60	3,723	11	577	4	109	75	4,409	45	3,109	9	907	1	120	55	4,136	130	8,545				
12	57	2,987	15	659	9	273	81	3,919	38	2,387	5	465			43	2,852	124	6,771				
13	58	3,059	19	285	3	339	80	3,683	26	1,681	7	540			33	2,221	113	5,904				
14	52	2,781	15	457	5	159	72	3,397	33	1,934	7	628			40	2,562	112	5,959				
15	68	3,143	8	234	3	88	79	3,465	31	1,678	8	635	1	81	40	2,394	119	5,859				
16	56	2,980	13	323	4	216	73	3,519	25	1,551	2	140	1	29	28	1,720	101	5,239				
17	51	2,797	15	275	1	21	67	3,093	32	2,325	5	345	2	69	39	2,739	106	5,832				
18	54	2,976	9	162	1	7	64	3,145	37	2,818	10	595			47	3,413	111	6,558				
19	80	3,704	22	937	6	106	108	4,747	44	3,149	5	474			49	3,623	157	8,370				
20	66	3,341	12	402	1	176	79	3,919	46	3,335	12	898			58	4,233	137	8,152				
21	65	2,950	16	539	5	64	86	3,553	42	2,947	11	919	1	45	54	3,911	140	7,464				
22	58	3,075	12	568	6	155	76	3,798	48	3,270	12	1,073			60	4,343	136	8,141				
23	63	3,315	13	467	6	226	82	4,008	64	4,694	8	922			72	5,616	154	9,624				
24	60	2,985	12	532	6	182	78	3,699	58	4,029	12	1,008	1	72	71	5,109	149	8,808				
25	57	2,705	19	545	1	36	77	3,286	56	3,579	11	901			67	4,480	144	7,766				
26	29	1,096	15	726	1	148	45	1,970	31	2,187	7	676			38	2,863	83	4,833				
計	1,474	84,003	298	12,366	84	3,644	1,856	100,013	1,088	77,615	218	19,627	49	3,452	1,355	100,694	3,211	200,707				

(参考) H25年6月末現在

25	25	1,103	20	607		45	1,710		32	2,006	5	361			37	2,367	82	4,077
----	----	-------	----	-----	--	----	-------	--	----	-------	---	-----	--	--	----	-------	----	-------

考古博物館 総利用者数

平成26年6月末現在 (単位:人)

項 目	23年度	24年度	25年度	26年度		増減 対H25 6月末比	増減 H22~25平均 対H24(前)6月末 比	事業内容
				26年度	増減 対H25 6月末比			
常設展 観覧者数	23,659	64,356	23,125	8,088	6.0%	3.7%		
特別展 観覧者数	6,773	64,865	6,545					
企画展 観覧者数	15,708	23,007	22,873	6,202	△ 53.1%	△ 32.9%	春季・夏季・(冬期)企画展、わたしたちの研究室(展示)、富士山の日ミニ展示、山の通跡展等	
主催事業 参加者数	21,764	25,677	20,956	7,020	△ 10.1%	2.6%		
講座等	557	511	418	96			史跡文化財セミナー、考古学講座、特別展事前講座、特別展記念講演会	
ものづくり教室	392	415	443	63			原始古代の技に学ぶ、チャレンジ博物館	
体験学習	9,330	9,073	8,586	4,824			勾玉づくり、火起こし、その他(土鈴、編布、青銅鏡等)	
イベント等	10,028	13,542	8,619	131			考古博物館の日、夏休み自由研究プロジェクト(7イッセ)、夏休みフリーハウスポートイベント、縄文王国関連イベント、特別展関連イベント、県民の日イベント、古代のもちつき、わたしたちの研究室表彰式、発表会、考古博春まつり 等	
風土記の丘子どもまつり	1,457	2,136	2,890	1,906			(GW期間中2日間開催)	
研修センター利用者数	2,043	1,530	2,271	290	※ △ 25.2%	※ △ 12.4%		
風土記の丘望見展観覧者数	362	262	93				(7月~8月開催)	
施設利用	1,681	1,268	2,178	290			講堂・研修室 【別掲】テニスコート利用者数 H23:1,670、H24:1,996、H25:1,935、H26:574	
総利用者数	69,947	179,435	75,770	21,600	※ △ 25.6%	※ △ 10.9%		

※別掲としたテニスコート利用者数を含む増減

山梨県考古博物館協議会委員名簿

(任期 平成二十四年十月二十三日～平成二十六年十月二十二日)

区分	役職等	氏名	出身分野 (勤務先等)
委嘱	山梨県公民館連絡協議会会長	堀内邦満	社会教育関係
委嘱	山梨県市町村教育委員会 連合会副会長	市川清	社会教育関係 (富士吉田市教育委員会教育委員長)
委嘱	山梨県PTA協議会理事	田中利江	家庭教育関係
委嘱	甲府市男女共同参画 推進委員会委員	小川はるみ	学識経験者
委嘱	国立大学法人山梨大学教授	大隅清陽	学識経験者
委嘱	山梨県立考古博物館協力会会長	椎名慎太郎	学識経験者
委嘱	山梨県考古学協会名誉会長	谷口一夫	学識経験者
委嘱	山梨郷土研究会理事	齋藤洋子	学識経験者
委嘱	NHK甲府放送局局長	飯野奈津子	学識経験者
委嘱	主婦	今福政江	公募
委嘱	主婦	杉野美幸	公募
任命	山梨県公立小中学校長会	篠原春子	学校教育関係 (山梨市立山梨小学校校長)
任命	山梨県高等学校長協会	望月立弥	学校教育関係 (県立甲府南高等学校校長)
任命	山梨県小中学校社会科研究会会長	宮川一男	学校教育関係 (甲府市立朝日小学校校長)
任命	山梨県高等学校教育研究会 地理歴史公民科部会会長	深沢信吾	学校教育関係 (県立巨摩高等学校校長)

(平成二十六年七月現在)

山梨県附属機関の設置に関する条例(抜粋)

(趣旨)

第1条 この条例は、法令又は他の条例に別に定めのあるものを除くほか、地方自治法第138条の4第3項に規定する附属機関に関し、必要な事項を定めるものとする。

(附属機関の設置及び担当事務)

第2条

2 教育委員会の附属機関として、次に掲げる機関を設置する。

(略)

山梨県立美術館協議会

山梨県考古博物館協議会

山梨県地方産業教育審議会

山梨県文学館協議会

3 第2項の規定により設置される附属機関の担任する事務は、別表第1の担任事務欄の掲げるとおりとする。

(組織)

第4条 附属機関は、別表第1、別表第2及び別表第3の委員の定数欄に掲げる数の委員で組織する。

2 委員は、別表第1、別表第2及び第3の委員要件欄に掲げる者のうちから、知事(教育委員会の附属機関にあつては、教育委員会。以下同じ。)が任命し、又は委嘱する。

3 委員の任期は、別表第1、別表第2及び別表第3の委員の任期欄に掲げるとおりとする。

(会長等)

第5条 附属機関に、規則で定めるところにより、会長又は委員長(以下「会長」と総称する。)及び副会長又は副委員長(以下「副会長」と総称する。)を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。

3 会長は、会務を総理し、附属機関を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

5 副会長が置かれていない附属機関にあつては、会長に事故あるときは、あらかじめ会長の指名する委員が、その職務を代理する。

(会議)

第6条 附属機関の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 会議は、規則で定める場合を除くほか、委員の2分の1以上が出席しなければ、開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、附属機関の担当事務、組織及び運営等に関し必要な事項は、規則で定める。

別表第1(第2条、第4条関係)

2 教育委員会の附属機関

附属機関	山梨県考古博物館協議会
担当事務	博物館法第20条第2項の規定による山梨県立考古博物館の運営に関する事項の調査審議及び意見の具申に関する事務
委員の定数	15人以内
委員の要件	1 学校教育の関係者 2 社会教育の関係者 3 家庭教育の向上に資する活動を行う者 4 学識経験のある者
委員の任期	2年

山梨県附属機関の設置に関する条例施行規則(抜粋)

(趣旨)

第1条 この規則は、山梨県附属機関の設置に関する条例の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

(補欠委員の任期)

第3条 委員に欠員を生じた場合における補欠の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第4条 条例第5条第1項の規定により、附属機関に会長及び副会長一人を置く。

(定足数の特例)

第5条 条例第六条第二項の規則で定める場合は、次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議について、同表の定足数欄に掲げる数の委員が出席しなければ開くことができない場合とする。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
定足数	過半数

(定例会及び臨時会)

第12条 次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議は、定例会及び臨時会とし、定例会の開催回数は、同表の開催回数欄に掲げるとおりとする。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
開催回数	年2回

2 前項に規定する臨時会は、必要に応じて開催する。

(庶務)

第13条 附属機関の庶務は、次の表の所属欄に掲げる所属において処理する。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
所属	考古博物館

(委任)

第14条 この規則に定めるもののほか、附属機関の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が当該附属機関に諮って定める。

※ 参考

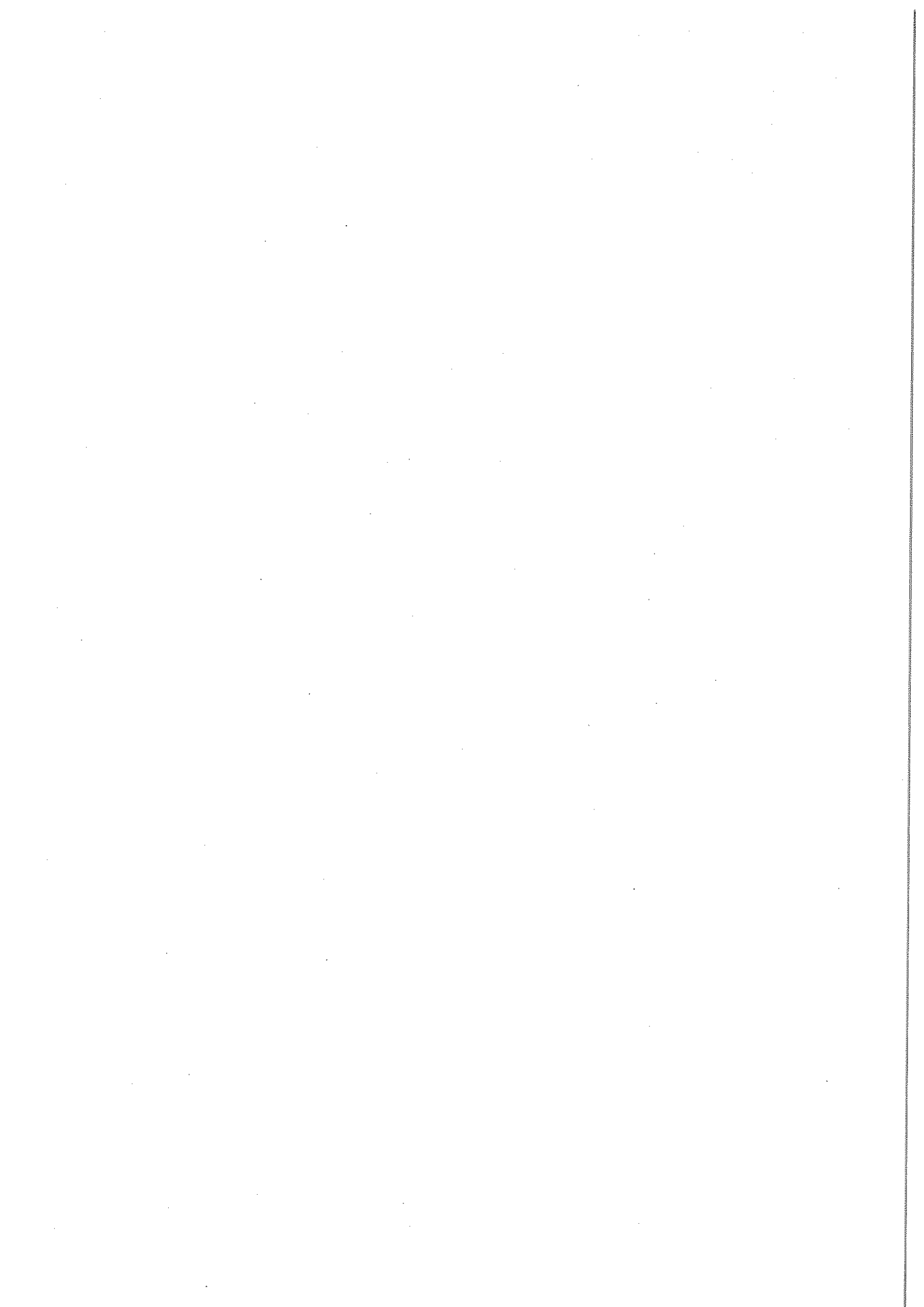
博物館法(抜粋)

(博物館協議会)

第20条 公立博物館に博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第21条 博物館協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。



山梨県立考古博物館の基本理念

○設置目的（山梨県立考古博物館設置及び管理条例）

古代文化に関する県民の知識を深め、教養の向上を図り、もって県民文化の発展に寄与する。

○目指すべき方向性

1 知識を深める考古博物館

生涯にわたり考古学や古代史に関する知識を深め、古代人の生き方に謙虚に学ぶことができる考古博物館

2 楽しめる考古博物館

「甲斐風土記の丘・曾根丘陵公園」の恵まれた自然の中で、大人から子どもまでが古代の技術や生活に親しみ、楽しむことができる考古博物館

3 郷土を再発見できる考古博物館

山梨の歴史、文化、風土、自然等を再発見することができる考古博物館

4 意欲をかき立てられる考古博物館

考古学や古代史に対する探求心、研究心等の意欲をかき立てられる考古博物館

5 未来につなげる考古博物館

考古資料をより適切な環境で保管し、県内の様々な機関と共有するとともに後世に伝え、^{いにしえ}古の文化を未来につなげる考古博物館

考古博物館基本理念と活動内容

